

# 盛国だより

第2号  
平成24年7月20日発行  
岩手河川国道事務所  
盛岡国道維持出張所  
TEL 019-636-0018

紫波町内の国道4号線沿いにあるアカマツは、奥州街道としての歴史を偲ばせています。奥州街道は江戸日本橋を起点に白河～盛岡～青森～三厩と続く日本最長の街道でした。明治天皇の東北巡幸の際、屈曲していた箇所を整備し「御幸新道（みゆきしんどう）」と呼ばれた道が今回の松のある場所です。

ところがそのうちの1本が松くい虫の被害に遭っていることがわかり、7月17日（火）～18日（水）の2日をかけて伐採しました。国道への枯れ枝落下と倒木による事故が懸念され、また、他の松への被害拡大を防ぐために伐採することになったのです。

地域の方々に親しまれているアカマツなので伐採は残念なことです。松の幹を有効活用する方法が地元で検討されています。

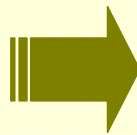


## 一松くい虫の被害とは一

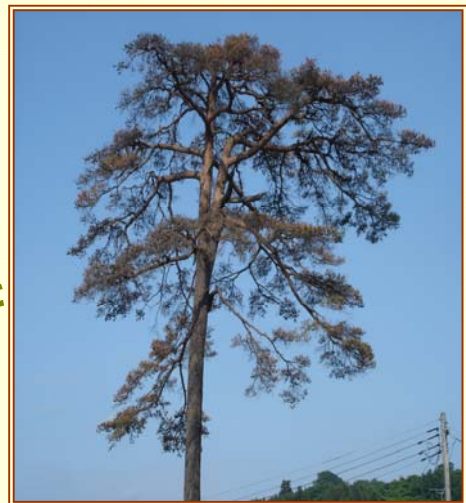
マツノゼイセンチュウ(病原体の虫)をマツノマダラカミキリ(媒介の虫)が体の中に入れて運び、マツノマダラカミキリが松の枝葉を食べると松の中にマツノマダラゼイセンチュウが侵入して松を衰弱させて枯らしてしまいます。そしてまたマツノマダラカミキリはマツノゼイセンチュウを体の中に入れて別の松へと移っていきます。



健康な松



松くい虫に  
食べられてしまうと



赤く枯れてしまった松

# 伐採作業の様子



**伐採1日目**  
アーム30mの50t吊クレーンなど  
伐採のための重機が現場に  
到着しました



伐採する枝をクレーンの  
ワイヤーにくくりつけて  
1本ずつ枝を切っています



枝を吊ってトラックに積んでいきます



約15mのアカマツを1~4m単位で  
切っていく荷台に載せます  
重量は全部で3.3tありました



**伐採2日目**  
国道4号線に重機が到着し  
伐採が開始されます



枝を全て切って幹だけになりました  
伐採作業1日目はここで終了です



伐採完了後  
4号線を見下ろしていた  
アカマツは根本から  
なくなりました



伐採された幹の直径は約67cmありました  
樹齢120年の立派なアカマツでした

当日はクレーンで木を吊り下げる際、  
重さを正確に計算することが重要でした。  
ワイヤーが外れたり、枝・木屑が落下して  
一般の方々の通行に支障がでないよう、  
慎重に作業を進めなければならないため、  
幹木にワイヤーがくい込み、固定されるか  
確認しながら臨みました。2日にわたる伐採  
作業を無事に終えてホッとしています。住民  
の方々からも「暑い中お疲れ様でした」と労  
いの言葉をいただきました。



現場代理人  
西島さん

—国道4号(花巻市石鳥谷町~盛岡市玉山区寺林)を管理しています—